

令和3年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

幼稚園・小・中学校は、3学期も引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に行った上で、教育活動を実施しています。

卒業式については、3密を避けて短時間で実施することとし、式への参加者は原則として卒業生とその保護者及び教職員とします。

何かと制限がかかる学校園での生活ではありますが、発達段階に応じて、児童生徒が感染予防の大切さを理解して実践することと、自分や周りの人の人権を大切にすることを学ぶ機会となるように取り組んでいます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○ 学校施設整備について

約1年間をかけて行ってきた、行幸小学校校舎大規模改造の1期工事が完成しました。3学期から新しくなった教室において、授業が開始されています。また、現在は引き続き行う2期工事の発注準備を進めています。

来年度の学校トイレ環境整備工事や国府小学校校舎大規模改造工事など、学校施設整備についても計画的に実施するため、関係予算を今議会に計上しています。

○ 学校ICT整備について

国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校の児童生徒1人1台のタ

ブレット型パソコンの配備を3月中に完了するよう進めています。

また、その端末を使用する際の通信速度の高速化を図るため、学校内の情報ネットワーク環境の整備工事を昨年末から順次開始しました。今年度中には全ての小中学校で工事を終え、新年度から新しく導入したパソコンを有効に活用した授業を行えるよう準備を進めています。

○ 邑久スポーツ公園の改修工事について

11月28日に邑久スポーツ公園の冒険の森の整備を進めるためのワークショップを開催し、子ども同伴を含む多くの市民の方のご参加のもと、意見交換や現地視察を行いました。このワークショップで出された子どもや保護者の声を生かした施設の実現に向け、準備を進めています。

また、野球場のトイレについては、既存のトイレの近くに新たに整備し、既存のトイレはミーティングルーム等に改修する予定としています。

工事期間は令和3年度から令和4年度までの予定です。

これらの改修工事を実施するための予算を今議会に計上しています。

○ 文化があふれるまちづくり事業について

今年度立ち上げた「文化があふれるまちづくり事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中、感染予防対策を徹底し、内容や方法を工夫しながら実行委員会を中心に実施しました。

来年度についても実行委員会が中心となり、市民の皆さまの文化活動の活性化とそれぞれの活動をつなぐ視点をもって、音楽部門に限らず、様々なジャンルの文化活動を取り上げて支援していくとともに、従来から公民館を利用いただいている方はもちろん、子どもから大人まで広く市民の皆さまが気軽に文化にふれていただくことのできる機会をつくっていきま

す。

また、今年度、これまでご指導いただいた講師や市内の貴重な人材をまとめてデータ化した人材バンクを作成しました。名称を「みつカル」とし、公民館グループや主催講座での活用を図り、学習活動への支援に取り組んでいきます。

○ 公民館主催講座について

来年度の主催講座の主なものとして、市の花である菊を育てる技術を学ぶ菊づくり講座、地域の著名な芸術家にご協力をいただいて開催する日本画講座、次回第25回を数える牛窓オリーブコンサート、初心者向けのドローン体験講座、地域の歴史を再発見し実際に現地を訪れてその良さを体感していただく地域再発見講座、地場産物を調理して味わう地域まるごといただきます講座、自然環境への関心を高めるために元南極隊員を招いて南極の活動や生活を紹介する「南極クラス」などを開講するよう計画しています。特に今年度実施した島に渡って古墳をめぐる講座はたいへん好評で、予備日を利用して追加の講座を実施しました。

新型コロナウイルス感染の予防を徹底しながら、各公民館それぞれにある地域資源に着目し、子どもから大人まで地域のよさを感じることできる場所となるよう企画を工夫していきます。

また、学習の成果を発表できる機会として、SNSの活用や公民館ロビーでの企画展示、活動動画の放映等にも取り組んでいきます。

○ 図書館について

図書館では、感染症対策をとりながら、市民に資料や情報を提供するサー

ビスを続けていますが、「小さなお子さん向け絵本パック」を用意し、ゆっくり本を選ぶことが難しい保護者も借りやすくなるような取組も始めています。

市民図書館の来館者数は、行事の縮小等もあり、前年度と比較すると9割前後で推移していますが、図書館等の貸出冊数は増えており、前年度との比較では1割近く増加してきています。

また、図書館友の会が詩をテーマにした事業で市民から自作の詩を公募したところ、359点もの作品が寄せられ、詩集が刊行されました。今後も、市民との協働に取り組んでいきたいと考えています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和3年2月22日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行